

管理用通路・看板について

1. 管理用通路・看板の設置検討の経緯

○管理用通路・看板の設置に関する検討の経緯

<平成26年度>

- 第2回(10月17日)専門委員会で、「残りの整備(管理用通路・看板設置含む)」について議論を行い、具体の検討は現地状況を確認してから行うべきとなりました。
- 第3回(11月18日)専門委員会で上池を、第4回(12月18日)専門委員会で中池を、第5回(1月17日)専門委員会で全域、第6回(2月3日)専門委員会で下池、第5回専門委員会で休日(土曜日)の状況を確認し、現地の結果を踏まえて、管理用通路と看板の整備案を作成しました。(P7-9に作成した案を示します)

<平成27年度、平成28年度>

- 具体化の検討のために、「公園化の検討」、「良いところアンケート」、「オブザーバー視察」等を追加検討行ってきましたが、管理用通路・看板設置の具体化は、進んでいません。



○管理用通路・看板の設置に関する検討について

<平成28年度>

- 管理用通路・看板設置は、平成29年度と平成30年度に整備を予定しており、今年度中に整備内容を確定する必要があります。
- 整備内容の確定に向けて、管理用通路の位置、ルート、形状及び看板の位置、内容、形状について検討をお願いします。

2. 管理用通路の検討

○管理用通路の検討

管理用通路を検討するための材料として、3種類の通路のイメージを示します。ルート別に通路のタイプについて検討をお願いします。

※ここで例示した通路タイプは、検討を行う上での参考のため、他タイプも含めて検討をお願いします。

○既存道路の取扱いの検討

なお、作成済みの通路案は、実施計画の範囲外も含めた、既存の道路を活用する案となっており、実施計画の外の道路の取扱い方針についても検討をお願いします。

上池：既存道路で改変が難しい。 中池：実施計画の範囲内のルートで自由にタイプを設定可能。

下池：既存道路で利用がなされており、改変が難しい。

type-A 散策路（幅員2m）



type-B 散策路（幅員2m）



type-C 車両通行（幅員4m）



ウッドクリート舗装

散策用の舗装で、木材チップをセメントで結合させたもので、水に浮かない比重のものを使用（NETIS登録SK-030010-V）

砕石舗装と松杭丸太とロープ

散策用の舗装で、路面を砕石舗装とし、通路の外への侵入を防止するために松杭とロープで境界を示す（下妻市観光協会HPより）

砕石舗装

維持管理作業で車両が通行できる通廊。
（太郎右衛門橋下流のモトクロス場跡地Aの周囲の管理用通路）

3. 看板の検討

○看板の検討

看板を検討するために、4種類の看板のイメージを別紙に示します。場所別のタイプについて検討をお願いします。

※ここで例示したタイプは、検討を行う上での参考のため、他タイプも含めて検討をお願いします。

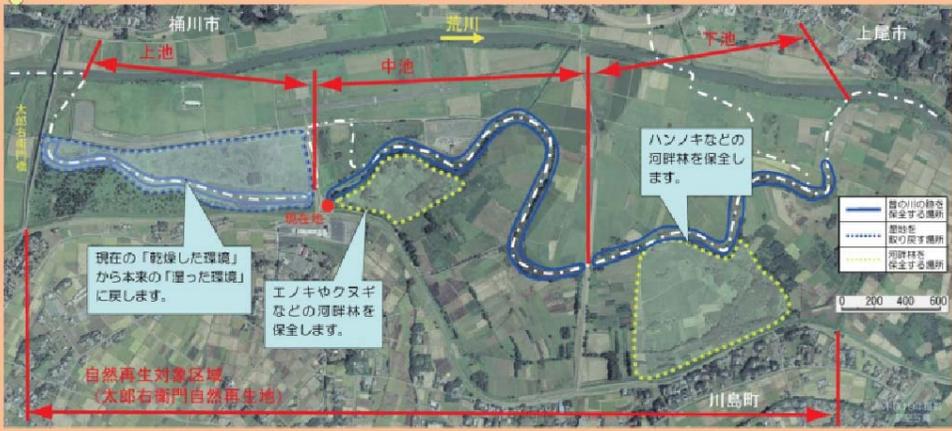
○既存看板の取扱いの検討

看板候補地に、既存の看板が設置されている箇所もあります。置き換え等の検討をお願いします。

参考：設置済みの看板

第31回協議会（2012年7月21日）で検討を行い、当面の案内看板として設置を行った看板です。

荒川の豊かな自然をとりもどす 取り組みをしています
この地域は、**荒川太郎右衛門自然再生事業の区域**です。



●かつてこの地域にたくさんいた生き物達が暮らせる湿地や河川林の再生を目指す工事と管理をしています。

●この取り組みは、地域のみならず、NPO、学識経験者、行政と一緒に進めています。

●皆さんも一緒に参加しませんか。興味のある方は下記までお問い合わせ下さい。

【問合せ先】
荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局 Tel. 049-220-0145（荒川上流河川事務所河川環境課内）

荒川の豊かな自然をとりもどす 活動をしています。



●かつてこの地域にたくさんいた生き物たちが暮らせる湿地の再生を目指しています。

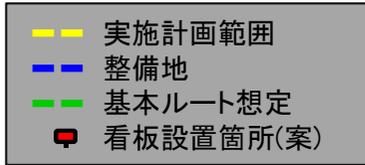
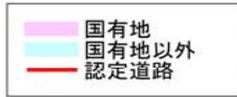
●外来種の侵入が見られる場所で、外来種を除去しハンノキなどの河川林の保全をしています。

●地域のみならず、NPO、学識経験者、行政と一緒に自然再生に取り組んでいます。

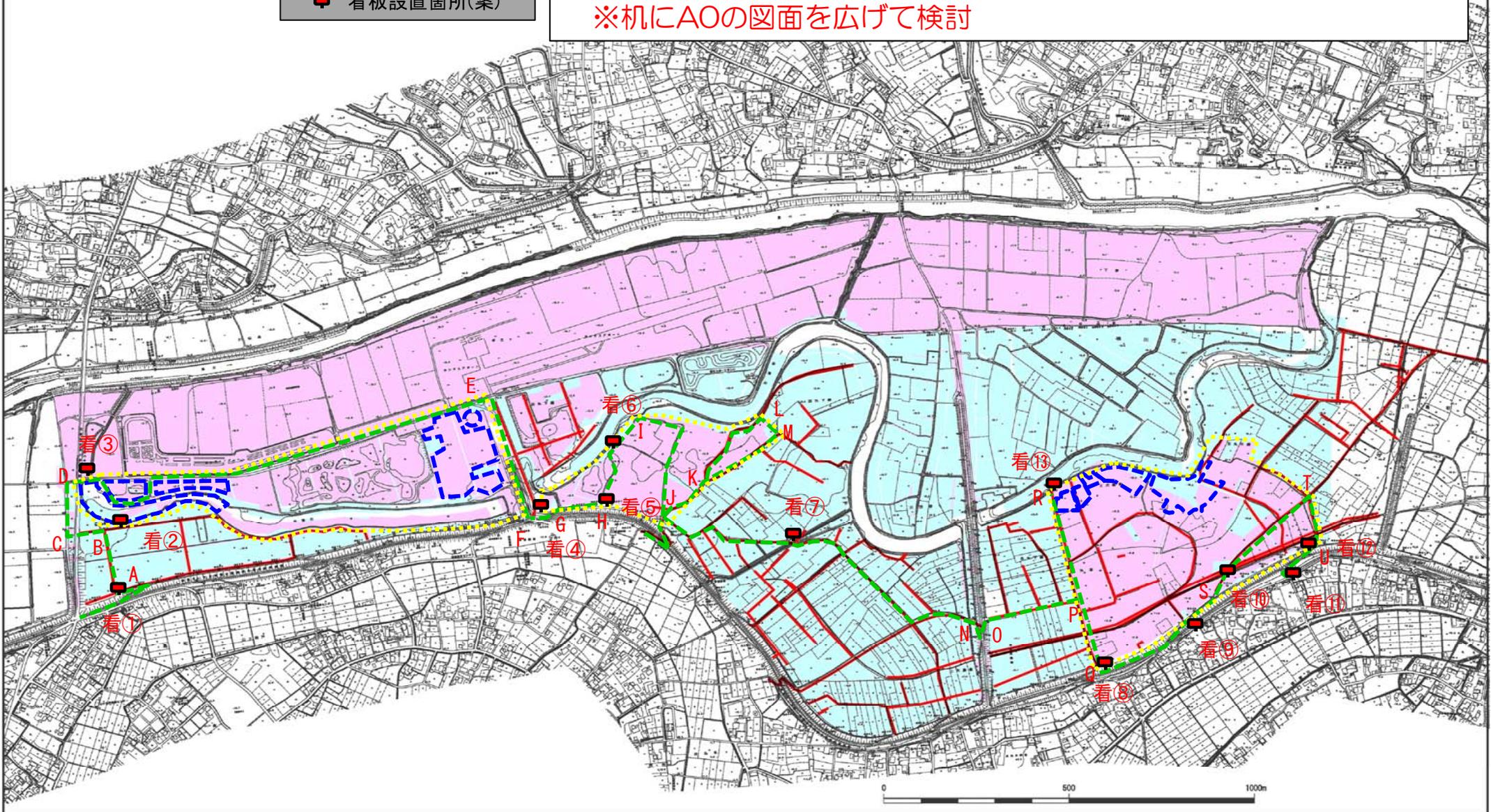
●皆さんと一緒に、荒川太郎右衛門地区の自然再生に参加しませんか。興味のある方は以下までお問い合わせ下さい。

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局
Tel. 049-220-0145（荒川上流河川事務所河川環境課内）

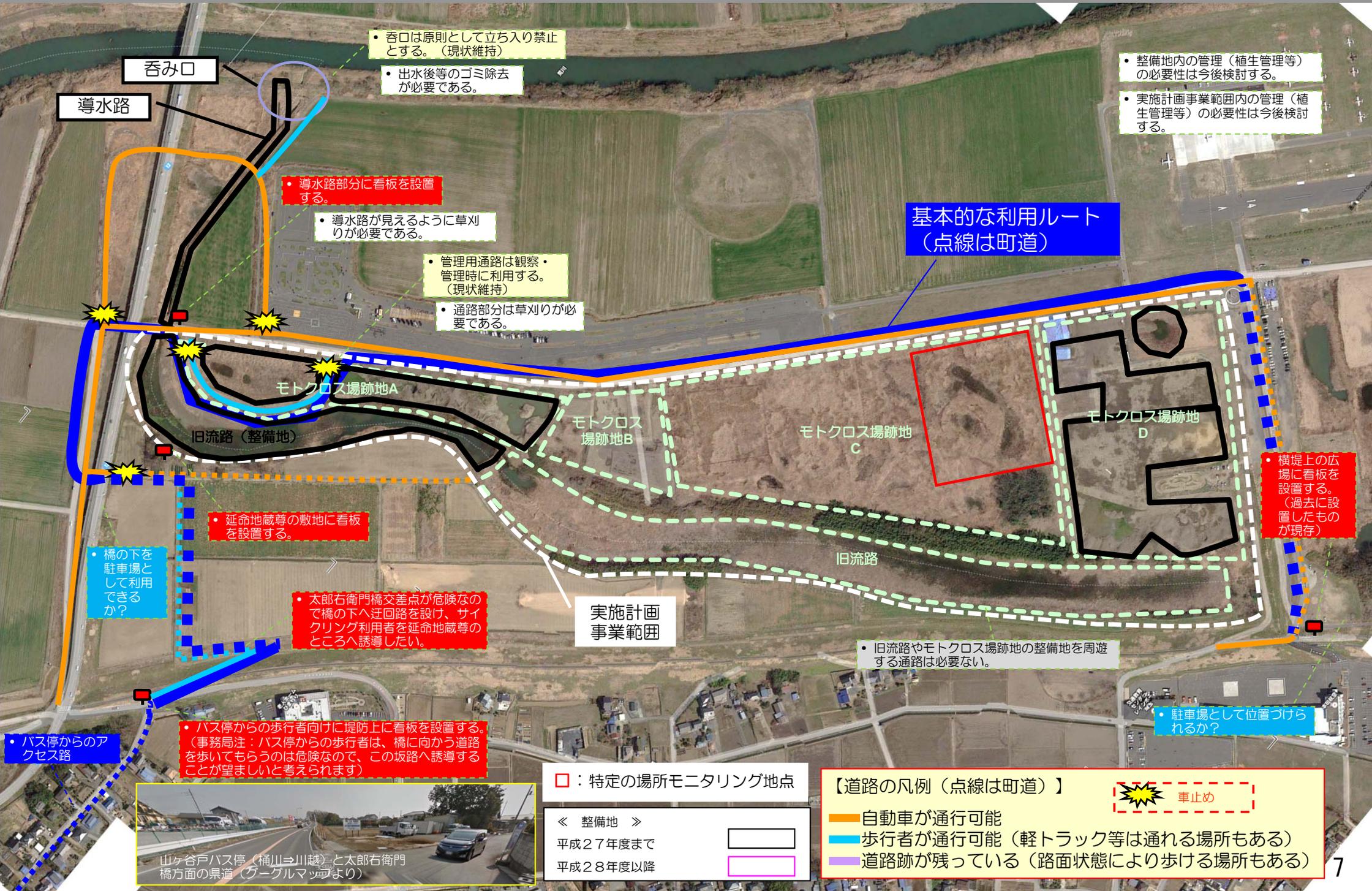
検討用の図面



- 緑の線が検討結果のルート案となっています。
 - ルートの変更も含めて、通路のタイプについて検討をお願いします。
 - 合わせて看板のタイプについても検討をお願いします。
- ※机にAOの図面を広げて検討



上池の通路・看板整備について



- 呑み口は原則として立ち入り禁止とする。(現状維持)
- 出水後等のゴミ除去が必要である。

- 整備地内の管理(植生管理等)の必要性は今後検討する。
- 実施計画事業範囲内の管理(植生管理等)の必要性は今後検討する。

- 導水路部分に看板を設置する。
- 導水路が見えるように草刈りが必要である。

- 管理用通路は観察・管理時に利用する。(現状維持)
- 通路部分は草刈りが必要である。

基本的な利用ルート
(点線は町道)

- 横堤上の広場に看板を設置する。(過去に設置したものが現存)

- 延命地藏尊の敷地に看板を設置する。

橋の下を駐車場として利用できるか?

- 太郎右衛門橋交差点が危険なので橋の下へ迂回路を設け、サイクリング利用者を延命地藏尊のところへ誘導したい。

実施計画事業範囲

- 旧流路やモトクロス場跡地の整備地を周遊する通路は必要ない。

駐車場として位置づけられるか?

バス停からのアクセス路

- バス停からの歩行者向けに堤防上に看板を設置する。
(事務局注: バス停からの歩行者は、橋に向かう道路を歩いてもらうのは危険なので、この坂路へ誘導することが望ましいと考えられます)

□: 特定の場所モニタリング地点

【道路の凡例(点線は町道)】



◀ 整備地 ▶	
平成27年度まで	
平成28年度以降	

- 自動車が行き可能
- 歩行者が行き可能(軽トラック等は通れる場所もある)
- 道路跡が残っている(路面状態により歩ける場所もある)



中池の通路・看板整備について



旧流路水際に看板を設置する。

駐車場として位置づけられるか？

横堤上の広場に看板を設置する。
(過去に設置したものが現存)

実施計画事業範囲への入り口に看板を設置する。

基本的な利用ルート
(点線は町道)

実施計画
事業範囲

通路は現状のものを活用し、利用しやすくするための整備をする。(歩行者は歩きやすくするとともに、車の無制限の立ち入りについては制限をかけるか検討する。)

現状の環境を変更する整備はしていない。
実施計画事業範囲内の管理(植生管理等)の必要性は今後検討する。

民地内になるが、中池・下池をつなぐルートとして位置づけたい。適所に看板を置きたい。

□：特定の場所モニタリング地点

【道路の凡例(点線は町道)】

- 一般車両が通行可能
- - - 歩行者が通行可能(軽トラック等は通れる場所もある)
- - - 道路跡が残っている(路面状態により歩ける場所もある)

車止め

下池の通路・看板整備について



- 整備地内の管理（植生管理等）の必要性は今後検討する。
- 実施計画事業範囲内の管理（植生管理等）の必要性は今後検討する。

旧流路水際のルートが必要かどうか、ハンノキ林の整備とあわせて検討する。

散策路としてのルート設定が必要かどうか、ゴミ投棄の危険性を踏まえて検討する。

整備地

移植地付近に看板を設置する。

整備地の管理に必要なルートとして車が通れる状態で維持する。（現状維持）

農家の方の利用もあり、車止めは置けない。

民地内になるが、中池・下池をつなぐルートとして位置づけたい。適所に看板を置きたい。

実施計画事業範囲への入り口に看板を設置する。

実施計画事業範囲への入り口の堤防上に看板を設置する。ここは危険なのでカーブミラーが欲しい。

□：ハンノキ育成試験地

□：特定の場所モニタリング地点

◀ 整備地 ▶
 平成27年度まで [Grey Box]
 平成28年度以降 [Pink Box]

基本的な利用ルート
 （点線は町道）

実施計画事業範囲

河畔林内の通路上の適所に看板を設置する。

実施計画事業範囲への入り口の堤防上に看板を設置する。

実施計画事業範囲への入り口の堤防上に看板を設置する。

【道路の凡例（点線は町道）】

- 一般車両が通行可能
- 歩行者が通行可能（軽トラック等は通れる場所もある）
- 道路跡が残っている（路面状態により歩ける場所もある）

☀ 車止め

素材マップ



<参考>「良いところ」のアンケート回答

【回答者(敬称略)】(H27.12.15現在)

荒木三郎および知己3名:略称A、大森秋郎:略称O、菅間宏子:S、川島町:略称K

※埼玉県河川砂防課より「埼玉県として、太郎右衛門の現場がよく分からないため、アンケートの回答ができない」との回答あり。



【太郎右衛門橋から見た旧川】
四季折々の表情が(水と緑、枯れた荒涼とした原野等)なぜかほっとします:K



【中池の上流側(スポーツランド)】
四季を通じて静かな場所です
下流側を写す:A



【中池の上流側(スポーツランド)】
四季を通じて静かな場所です
上流側を写す:A

【改修水路】
改修して年月も経過してきたので往時の景観が戻ってきた:K

【上池周辺】
多様な生物が観察できる:K

【ハンノキ】
ハンノキが植樹されており、緑の期間も長く、真夏でも涼しさを感じさせ、貴重な自然風景を作っている。自然の風景が心を豊かにしてくれる。:K

【荒川から見た富士山】
冬季に見える雄大な富士山:A



【下池・最下流側(ラジコン場)】
四季を通じて静かな場所です
釣り人も少ない:A



【下池側のハンノキ林】
ハンノキの老木と若木のコントラストが綺麗です:A



【ハンノキ】
試験箇所のハンノキが育ってきた:K

【多様な樹種の河畔林】
多様な樹種、鳥たちの生息空間:S

【エノキの並木】
S



【下池周辺】
多様な生物が観察できる:K

【下池周辺の林】
エノキの巨木:S

【ハンノキの自然再生】
休耕田がハンノキ林に変化していく様子が観察できる:S

【白山横堤】
自然再生地を見学するのに適地:S

【延命地藏尊】
上池と新緑・広葉期 池に水位がある時期が良い:A



【赤城水路】
昔の水路状況も残っている場所もある:K

【旧川】
元荒川は自然が多く残り動植物も豊富:K

【延命地藏尊】
上池と太郎右衛門橋・池に水位がある時期が良い:A



【中池・最下流側】
中池に写る新緑・紅葉期が綺麗です:A



【堤防】
多くの生物を1年中見ることが出来る。スミシ、ノザザミ、ノハラアザミ、チガヤ、センニンソウ等:S

【河畔林の中の水路】
ほぼ1年中水が流れ、種々の生物が見られる:S

【県道さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道線から見た田園風景】
原野と田植えが終わった後の水の張った田んぼのコントラスト(4月末頃)。この季節に土手の上を歩くのはとても気持ちいいです。:K

【延命地藏尊】
延命地藏尊と太郎右衛門橋新緑・紅葉の時期が綺麗です:A



【下池全体(旧荒川ビオトープ)】
クヌギやハンノキが多く生育しているため:K

【堤防上・下池入口側】
堤防の土砂備蓄地の雑木林の紅葉が綺麗でした:A



【ミツヤ沼ビオトープ・周辺】
様々な植物を観察することができる。タヌキやキツネなど多くの野生動物が生息している。:K

昔の蛇行河川跡そのものが価値があるので全て良い(特に上池全体、下池全体):O

人の利用による問題整理マップ (違法・合法含む)

